

【学校教育目標】「笑顔いっぱいの学校づくり」

～温かい心で認め合い、励まし合い、支え合う子どもの育成を目指して～

鬼塚小学校便り No.26

令和6年3月22日発行

文責 校長 市丸 明彦



モア スマイル



1年間ご支援・ご協力ありがとうございました

本日、無事に修了式を迎えることができました。今年度も子供たちの「笑顔づくり」に取り組んできました。まだ十分ではありませんが、少しずつ子供たちの笑顔が増えてきたように思います。

これも、保護者や地域の皆様のご支援・ご協力のおかげだと感謝しています。来年度も子供たちの笑顔がもっと増えるように取り組んでいきたいと思えます。本当にありがとうございました。

また、修了式後の辞任式では、12名の先生方とのお別れがありました。在校期間に長短ありますが、子供たちの笑顔のために、本当に一生懸命働いていただきました。異動される先生、退職される先生と様々ですが、新しい勤務先での活躍を願っております。なお、異動関係の詳細は、本日長子に配付していますのでご確認ください。



感動的な卒業式でした

15日（金）は、新型コロナウイルス等の制限もなく、4年ぶりに多数のご来賓にもご出席していただき、心のこもったあたたかな雰囲気の中、卒業生一人一人がしっかりとした態度で卒業証書を受け取ってくれました。



学校長の式辞では、卒業証書の意味や「人としての心や行動」、「感謝する心」、これからの人生で夢に向かって自分なりの「正解」を見つけてほしい等の話をしました。

その後、卒業生や4・5年生の呼びかけや歌声が会場に響き渡り、胸を張って退場する卒業生の表情には、小学校生活を最後までやり遂げた充実感と、これから大きな夢に向かうしっかりとした決意を感じました。

私にとっては校長として初めての卒業式でしたが、参加した全ての人の心に残る感動の卒業式になったと思います。卒業生の輝かしい未来を願っております。

今日の修了式で、以下のことを話しました。（一部抜粋）

AさんとBさんがいて、二人とも野球の練習を5日間するとします。Aさんは毎日素振りを100回、5日間やったとします。Bさんは、4日間は何もせず5日目に素振りを500回やったとします。どちらの方がいいと思いますか。同じ500回でも、**毎日の経験が積み重ね**となって、**実は何倍もの効果になります**。今日1日の頑張り、今日1日の活動が明日につながり、明日の活動を更に高めていきます。まとめてどんとやるよりも、**毎日コツコツと積み上げていくことが大事だ**ということが分かります。明日からはちょっと長い春休みになります。春休みは陽気もだんだん暖かくなっていきますし、1年間が終わったという開放感もあります。それから、新しい学年が始まるウキウキした気分にもなります。そうすると、学校で身に付けてきた規則正しい生活がおろそかになってしまうことがあるかもしれません。そうならないように、春休みでも毎日少しずつ勉強したり運動したりして、規則正しい生活ができるといいともいます。この春休みの生活が規則正しく送れると、4月からの新しい学年の生活にも上手に入っていけると思います。